

観光都市にいざづくり事業

—No.26 新座市—

【事業の目的】

市民の方々には「ずっと住み続けたい」と感じてもらい、本市を訪れるの方々には「また訪れたい」と思ってもらえる観光都市づくりを推進することを目的としています。

【事業の内容】

首都近郊にありながら緑豊かで、野火止用水や平林寺等の歴史的文化資産も多く残されているという地域の特性を生かし、「雑木林とせせらぎのあるまち新座」をテーマに、市域全体をフィールドミュージアムとして、市民をはじめ来訪者が各見どころをウォーキングで巡ることのできる環境を整備するとともに、新たな見どころや体験型観光事業の構築、特産品づくりなどを進めるものです。

また、ウェブサイトの多言語化やSNSの利活用を図ることで、快適な情報環境の整備と、国内外に向けた本市の魅力発信を推進するものです。

【事業年度】

平成 18 年度～

【予算額(千円)】

22,592千円(平成 29 年度)

【財源】

一般財源(市)

【事業実施に至った背景・経緯】

本市では、市民や訪れる人が新座の魅力を再発見し、定住者及び来訪者の増加や地域経済の活性化により税収の伸びるまちづくりを実現することを目指し、平成 18 年度を観光都市づくり元年と位置付けて、「観光都市にいざづくりア

クシヨンプラン」に基づき、様々な取組を開始しました。

また、平成 27 年度には、これまでの取組と社会状況及び本市が目指すまちづくり構想を踏まえ、平成 28 年度からの 10 年について、多様な人材の活躍、豊富な自然や歴史・文化と良好な都市空間の調和を促進し、ずっと住み続けたい、また訪れたいと思える本市ならではの観光都市づくりを推進するため「第 2 次観光都市にいざビジョン」を策定するとともに、新たな取組も加えた 5 年間の「第 2 次観光都市にいざづくり前期アクションプラン」を策定し、これに基づいて事業に取り組んでいます。

【事業のPRポイント】

観光都市づくりに係る様々な取組では、多くの市民やボランティア団体の方に協力を得ながら、市民との連帯と協働による観光都市づくりを進めています。

＜主なボランティア活動＞

新座市観光ボランティアガイド協会（委嘱者数 77 人）

平成 28 年度実績（平成 29 年 3 月 14 日現在）

109 組 1,856 人を案内

観光都市づくりサポーター（委嘱者数 196 人／平成 29 年 3 月 14 日現在）

活動内容：野火止用水の清掃、花畑の整備、カブトムシの里づくり、新座みかん園の栽培管理、イベントへの協力等

【事業実績・成果】

○ 平成 27 年度の取組

- ・ 「お土産になる『食』分野の商品」をテーマに市内産品 10 品を「新座ブランド」として認定。
- ・ 「手打ちうどん」の技術継承や認知活動に取り組まれている市民 22 名を「新座市手打ちうどん名人」として認定。
- ・ 第 2 次観光都市にいざビジョン及び第 2 次観光都市にいざづくり前期アクションプランを策定。

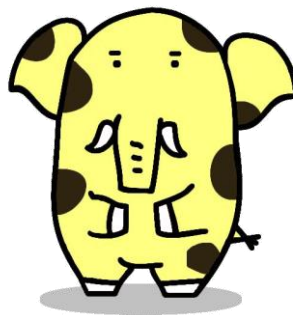
○ 平成 28 年度の取組（主なイベント・来場者数（延べ人数））

- ・ “すぐそこ新座” 春まつり 2 万 5,000 人
- ・ 平林寺半僧坊大祭 1 万 5,000 人
- ・ 市民まつり産業フェスティバル 5 万人
- ・ 睡足軒の森 紅葉ライトアップ 1 万 9,293 人
- ・ 大江戸新座祭り 10 万人

【参考資料】



新座市ロゴマーク



新座市イメージキャラクター「ゾウキリン」

〔 連絡先 〕

観光推進課観光推進係

048(477)1449(内線1093)